

この研修では、限られた時間を有効に活用し、有意義な内容とすることを目的に、事前課題の作成を課しています。演習で使用する事例を十分に読み込み、手引きに従って事前準備をして、演習に参加してください。演習は、すべての受講者が事前課題を作成、準備していることを前提に進めます。

1. 事例の読み込み

まずは、演習事例を十分に読み込んでください。相談支援従事者現任研修では、指定特定相談支援事業所を想定した「サービス等利用計画」を作成していきますが、生活の全体像や人物像、これまでの生活やこれからの生活など、全体的・総合的に生活を把握する視点で事例を読み込んでください。

2. 利用者のストレングス

個人および環境のもつストレングスを書き出します。つまり、個人のストレングスとしては、本人の持つ強み、できること、持っているもの等を、環境のストレングスとしては、環境の持つ強さ、生活する上での有利な条件、キーパーソンを含む人的環境の存在などを書き出してください。

その際、事例の中に出てくるキーワードや本人の言動、場面などを抜き書きすることを基本に、事例から類推できること（根拠が必要）についても合わせて書き出してください。

3. 本人の望む生活（本人の望みと家族の意向）

事例から読み取れる「本人の望む生活」について書き出します。ただし、事例の中には「○○のような生活をしたい」とは明確に現れない場合がありますので、本人の望む生活（実現したい具体的な項目）を書き出してください。知的障害のある人や児童については、利用者の特性上、家族の意向の反映が前提になりますので、本人の望みと平行して、家族の意向についても書き出してください。他の成人に関しては、家族の意向を書き出しても構いませんが、例えば（ ）書きで（母）と明記するなど、本人ではなく家族の意向であることが分かるように記入してください。

その際、上記2.同様、事例の中に出てくるキーワードや本人の言動、場面などを抜き書きすることを基本に、事例から類推できること（根拠が必要）についても合わせて書き出してください。

4. 素敵な相談支援専門員を目指す私として気になること

この項には、事例の読み込み、ストレングス、本人の望む生活や家族の意向（つまり上記1.~3.を通じて整理したこと）を踏まえ、相談支援従事者の立場から考えた時に、気になることを書き出します。例えば、事例に文字としては現れていない隠れた要望やニーズ、予想される状況の変化や、その時に生じると思われるニーズ、明確には示されていないが、推測される家族の意向や反応（行動や態度）などを考察しながらケースを把握し、計画を立案して、事業所に対して支援を依頼していくことを想定した際に気になること、留意しておいたほうが良いと思われることについて書き出してください。

尚、この項目については、講義その他で学んだ「相談支援の基本姿勢及びプロセスについて」を踏まえて作成してください。

※課題記入様式は、PDF及びワード形式の両形式でデータを掲載しています。
ワード形式を用いて直接入力いただき、完成いただいても結構です。
（また、記入様式作成にあたっては複数枚にわたっても構いません）。